

REHABILITATION & NUTRITION

2023年4月新設
設置構想中

保健学専攻 理学療法学分野

リハビリテーション栄養 コース

日本は高齢化率が世界で最も高い「高齢化先進国」です。高齢化に伴い、サルコペニアやフレイル、栄養障害といった栄養問題が顕在化し、生活の質を著しく脅かすことが分かってきました。リハビリテーションと栄養を組み合わせた概念は、健康寿命の延伸だけでなく、栄養問題に苦しむ高齢者への有効な対策として注目されています。

「リハビリテーション栄養コース」は、リハビリテーションと栄養に関する体系化された世界初の高度専門職業人育成コースです。老年学とリハビリテーション栄養学を基盤にして、サルコペニアやフレイル、栄養障害などの現代社会において極めて重要なテーマを質の高いOn the job trainingとOff the job trainingで養います。

On the job trainingは、この領域で著名な業績を挙げている熊本リハビリテーション病院で研修を行います。多職種で栄養問題への関わりを学ぶと同時に、2020年に同院に設立された「サルコペニア・低栄養研究センター」のサポートのもと臨床研究を実践します。Off the job trainingでは、臨床栄養や骨格筋生理の基礎分野から、栄養サポートチーム(NST)での実践まで、リハビリテーション栄養に必要なあらゆる知識を習得することができます。

1 現代医療に欠かせない知識を
Off the job trainingで習得

2 サルコペニア・低栄養診療において先進的な
医療機関でのOn the job training

3 医療機関と大学が連携した高度な臨床研究の実践

リハビリテーション栄養特論(予定)

- ・栄養の基礎(エネルギー代謝、栄養素の役割)
- ・栄養と運動代謝(運動時のエネルギー代謝、エネルギー必要量、運動処方)
- ・骨格筋の基礎(骨格筋の解剖、筋生理)
- ・栄養障害とその管理
- ・サルコペニアとその管理
- ・フレイルとその管理
- ・低栄養・サルコペニア・フレイルと嚥下障害
- ・リハビリテーションに必要な薬剤の知識 など

※講義は新潟医療福祉大学の教員、熊本リハビリテーション病院の専門職、外部講師が担当

指導教員からのメッセージ



リハビリテーション栄養コース 指導教員
井上 達朗 保健学専攻 / 理学療法学分野

この10年でリハビリテーションを取り巻く環境は大きく変わりました。リハビリテーションと栄養を同時に考えることが、健康寿命の延伸や様々な疾患で入院した高齢者の機能予後を改善することが分かってきました。これらの背景から、理学療法士・作業療法士の卒前教育に栄養学が必修化され、診療報酬にもリハビリテーションにおける栄養管理の重要性が反映されています。

本コースでは、世界が直面している高齢化社会において、真に必要とされる知識・臨床力・研究力の全てを養います。まさに、リハビリテーションと栄養に関する世界初の体系化された大学院コースです。是非、この新しい分野を共に築き上げましょう。

Training destination 熊本リハビリテーション病院

熊本リハビリテーション病院は熊本市郊外の菊陽町に位置し、熊本都市圏の医療連携において中核的なリハビリテーション病院の役割を担っています。病室からは壮麗な阿蘇外輪山を一望できる恵まれた自然環境です。もともと職員の臨床や教育、研究の意識が高いリハ病院でしたが、リハ栄養および関連領域における研究、教育、人材育成を目的として、2020年4月1日にサルコペニア・低栄養研究センターが開設されました。一般病院におけるこのような研究センターの開設は意欲的かつ挑戦的な取り組みです。地域と密接に連携した高機能リハビリテーション病院という当院の特色を生かしながら、リハ栄養をベースとした最新の医療やケアの標準化や均てん化をめざして多様な臨床研究に挑戦しています。意欲やモチベーションが高い多職種で共同研究を行っていることは当センターの大きな強みだと考えています。



サルコペニア・低栄養研究センター センター長
リハビリテーション科 副部長

吉村 芳弘 先生 (医師、医学博士)

主な研究テーマ 回復期におけるサルコペニア/
口腔嚥下/リハ薬剤



サルコペニア・低栄養研究センター 副センター長
リハビリテーション部 臨床研究主任

長野 文彦 先生 (理学療法士)

主な研究テーマ 栄養理学療法/サルコペニア/
フレイル

高齢化や多疾患合併、サルコペニア、フレイル、認知症、ポリファーマシーなどを背景に、リハビリテーションに関わるすべての医療職にリハ栄養の概念を理解し実践することが求められています。どのセッティングにおいても身体機能や生活動作、活動や参加を最大化するためにリハ栄養がその一助となってくれます。当院ではリハ栄養の実践だけでなく、教育や研究にも力を入れています。やる気があればどなたでも歓迎します。

セラピストはリハ栄養の中核的存在です。リハ効果を最大化するためには、リハからみた栄養、栄養からみたリハという視点が重要であり、リハ栄養は患者様の生活再建において重要なファクターといえます。当院では、栄養サポートチームやサルコペニア・低栄養研究センターを中心として、臨床と研究の両面で漸進的に取り組んでいます。一人でも多くの患者様の豊かな生活づくりに貢献できるよう、一緒に学んでいきましょう。

施設概要

所在地: 熊本県菊池郡

総病床225床(回復期リハビリテーション病棟135床)

リハビリテーションスタッフ157名(PT82名, OT54名, ST18名)(2021年度現在)

リハビリテーション栄養に関して全国一の実績と知名度を誇る。論文掲載数、書籍執筆、メディア取材実績多数。

本コースでは、既卒コースと新卒コースの2つのパターンを用意しています。新卒・既卒コースともに熊本リハビリテーション病院での実地研修は修士課程の一部の単位として認められます。また、同院サルコペニア・低栄養研究センターのサポートのもと、臨床研究を行い、修士論文を執筆します。

リハ栄養コース入学 熊本リハ入職	修士課程1年目	修士課程2年目	リハ栄養コース修了
新卒コース (2年間実地研修)	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教育 ・基本業務の習得 	栄養業務の経験 1. チーム医療(NST、医師、栄養科、歯科、看護部連携) 2. 栄養の知識習得 3. 評価・介入の実践	
既卒コース (1年間実地研修)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本業務の習得 ・栄養業務の経験 1. チーム医療(NST、医師、栄養科、歯科、看護部連携) 2. 栄養の知識習得 3. 評価・介入の実践	出向元へ戻り、ノウハウの還元	
新卒・既卒コース 共通	リサーチカンファレンス、研究計画立案、データ解析、修士論文執筆		

■ 新卒コース

国家資格取得直後の4月から熊本リハビリテーション病院の職員として2年間の実地研修を行います。理学療法士として必要な知識と技術を体系化された新人プログラムによって習得します。

■ 既卒コース

他の医療機関に勤務している理学療法士が1年間熊本リハビリテーション病院に「出向」し、リハビリテーション栄養の実践を学びます。自身の施設に戻り、得た知識や実践力を還元します。

point

1. 特論やリサーチミーティングは
全てオンラインで可能!

2. 社会人コースは熊本リハビリテーション病院から
委託料を支給※
※経験年数等に応じて調整

新潟医療福祉大学大学院

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地 TEL:025-257-4500 FAX:025-257-4505
E-mail:grnyuusi@nuhw.ac.jp URL:https://www.nuhw.ac.jp/grad/



大学院に
興味のある方は
是非お問い合わせ
ください。

